

企業活動を取り巻く反社勢力の変容リスク ～暴力団構成員減少統計から考える～

プロローグ

暴力団員、初の1万人割れ 本当?! トクリュウに流れた?

…参照別紙1

- * 暴力団側の組長責任等追及逃れ→組織隠蔽、未把握組員の存在
- 非組員化、暴力団関係企業等の先鋭化、偽装離脱

第1 暴力団の威力を中核に形成された反社会的勢力

…参照別紙2

- 1 長い歴史の中で暴力団威力を背景に形成
 - * 縄張り・利権・顔役
- 2 暴力・威力と詐欺的手法を駆使
 - * 会社ゴロ・総会屋・社運動ゴロ・新聞雑誌ゴロ・地面師
- 3 暴力団活動の不透明化(属性隠ぺい)
 - * 暴力団関係企業・暴力団共生者・を利用

第2 社会の暴力団関係遮断が価値観となって促進

…参照別紙3

- 1 暴対法効果
 - * 暴力団の活動を規制、離脱・就労を支援
- 2 政府指針効果
 - * 暴力団排除条項導入、全ての経済取引から排除
- 3 暴力団排除条例効果
 - * 義務と制裁、事務所撤去活動

第3 「新たな犯罪グループ」の出現と反社構造の変化

- 1 IT ネットにつながる新型「反社」
 - * IT等の新技術を駆使、経済活動に浸透
- 2 半グレ集団・準暴力団
 - * SNS等を悪用、離合集散
- 3 匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)
 - * 暴力団・準暴力団に当てはまらない

…参照別紙4

第4 企業を狙う組織犯罪…暴力団パワーの行方?!

- 1 暴力団のアングラ化
 - * 暴力団のローリスク・ハイリターン・シフト化
- 2 トクリュウ首領やメンバーに暴力団構成員が存在
 - * 暴力団構成員とトクリュウ・メンバーが共謀し犯罪を実行
- 3 トクリュウの資金の一部が暴力団に流れている
 - * トクリュウを利用、暴力団組織トップの責任追及を逃れる